

校長室からつぶやき・・・ 「ツイート」新聞



宇美町立宇美南中学校
第51号
文責 校長 熊本 寿美
令和4年2月15日(火)

主体的な生徒会活動で高まる貢献意欲。

ボランティア活動参加率 405%
学校生活調査「人の役に立ちたい」91.0%



上の写真は、3学期始業式の1年生の教室の朝の様子です。2学期終業式の日、教室のワックスかけをした時に、教室の机や椅子などをすべて廊下に出していました。その机や椅子を、登校してきた生徒が自ら運んでくれていました。それぞれに記された出席番号を確認して座席を確認して教室に配置し、縦横もきれいに並べて、全員分を運び終わってくれました。誰かのためになる行為、みんなが助かる行為を、自らの意志で早く行動していることがとてもすばらしいと、感じました。

本校の生徒会は、ボランティア活動を企画し多くの生徒が参加しています。本年度のこれまでの参加率は、405%です。学校生活調査からも91.0%の生徒が「人の役に立ちたい」と思っていることが分かりました。主体的な生徒会活動が実践されていることで、本校生徒の貢献意欲が高まっています。

学力向上プロジェクトが始まります。

3学年卒業までのカウントダウン。

2月14日(月)から、17日(木)18日(金)の定期考査に向けた取組として、学力向上プロジェクトの取組が始まりました。2・3年生の学習支援ボランティアの生徒たちが下学年の生徒たちに個別に勉強を教える取組です。教えることは、自身の学びを振り返り知識の定着につながります。さらに、聞き取る力や伝える力、説明する力などの対話力が磨かれます。習う側も個別に質問したり、自己のペースで勉強できたりすることで、疑問の追求ができます。互いに「わかった」時の達成感の共有が学ぶ意欲を高めます。本校の異年齢の良好な関係性がこのような取組の効果を高めています。



2月7日(月)から3学年の教室では、卒業までのカウントダウンが始まりました。今年は、一人一日分をChromebookで作成し、教室のテレビからのデジタル発信です。卒業までの思いを画像やコメントで表現し伝えられています。変わらず流れる時間も、あっという間に、と感じてしまうものです。中学校3年間の2年間は、コロナ禍での生活でした。みんなと一緒に乗り越える力がわいてきたことと思います。友達がいてくれたから、笑顔になれたことと思います。カウントダウンに記された級友からのコメントを胸に、卒業までの一日一日を大切に、充実させて、みんなとの楽しい時間を作ってほしいと願っています。



第四回伊都国「応募俳句」大会12名入選。

3学年国語科が取り組んでいる俳句の学習成果として、「第四回伊都国応募俳句大会」に挑んだところ、12名が入選しました。このような挑戦と評価が次の取組意欲につながっています。

【入選】

廣瀬千晶さん・穴井涼太さん・石上優空さん・中園翠希さん
小柳翔太郎さん・藤田光里さん・田代心咲さん・藤本堃花さん
城谷莉湖さん・林田唯愛さん・杉本梨領奈さん・岡田大輝さん

「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり